※令和４年度以降入学生用

学校番号	408

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「情報Ⅰ図解と実習」　（日本実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、プログラムやネットワーク、情報セキュリティの仕組みについて学び、日常使っている情報機器について理解を深めていきましょう。
・情報の科学的な理解を深め、情報活用能力を身につけていきましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、多様な考え方を学び、主体的に参画するための態度を身につけましょう。

２　学習の到達目標

・情報に関する科学的な見方・考え方について学び、情報や情報技術などを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深める。
・情報社会の様々な事象の問題発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養い、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
・情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報やメディアの特性を理解し、情報や情報技術を活用して、問題を発見・解決する方法を身につけている。 ・情報に関する法律や制度、情報セキュリティの重要性、情報モラルについて理解している ・情報技術が人や社会に果たす役割や及ぼす影響について理解している	・目的や状況に応じて、情報や情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決する方法について考えること ・情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルについて、科学的に捉え、考察すること ・情報や情報技術の適切な活用と望ましい情報社会の構築について考察すること	・情報や情報技術を適切に活用することで、法律や制度、マナーを守ろうとしている ・情報や情報技術を活用することで問題を発見・解決し、情報社会に主体的に参画しようとしている ・情報や情報技術の活用について、自らの行動や考えを評価し改善しようとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	情報社会と私たち	○情報社会とわたしたち ・SNSの普及と情報モラル ・大切な情報を守るために ・情報社会を支える法律 ・著作権に関する法律	a.情報に関する法規や制度、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。 b. 事象と情報の結びつきについて考え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切に用いている。 c. 情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。	小テスト 実習作品	実習作品 プリント	授業観察 実習作品 自己評価 相互評価
二学期	コミュニケーションと情報デザイン	○メディアとコミュニケーション ・メディアの変遷 ・ソーシャルメディアの活用 ○情報デザイン ・情報デザインの工夫 ○情報のディジタル化 ・2 進法 ・文字、音、画像、動画のディジタル化	a:情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身につけている。 b:目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている c. 情報や情報技術を活用することで問題を発見・解決し、情報社会に主体的に参画しようとしている	小テスト 実習作品	実習作品 プリント 発表	授業観察 実習作品 自己評価 相互評価
三学期	コンピュータとプログラミング	○コンピュータの仕組み ・コンピュータの基本的な構成 ・CPU ○アルゴリズムとプログラム ・アルゴリズムの図式化 ・プログラムの構造 ○モデル化とシミュレーション ・モデル化とは ○情報通信ネットワーク ・IPアドレスとプロトコル ・情報セキュリティの重要性	a.情報や情報技術を活用して、問題を発見・解決する方法を身につけている。 b.情報や情報技術の適切な活用と望ましい情報社会の構築について考察している c.情報社会の問題を発見することを通して、より広く深い学びに取り組み、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。	小テスト 実習作品	実習作品 プリント 発表	授業観察 実習作品 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度